



10月といえばハロウィンですね。そこで今回はホラー小説の特集です。不気味さを感じつつも、ついつい読んでしまう魅力的な本を集めました。

発行日：令和6年10月31日



Another 作者：綾辻行人

あらすじ：主人公である榎原恒一は転校先のクラスに違和感を覚えつつも不思議な少女、見崎鳴に惹かれていく。そんな中恒一は『言い伝え』や『おまじない』等26年前の事件に起因する様々な謎について知っていく。
魅力：張り巡らされた多くの伏線と謎が回収される圧倒的な読みごたえ。そして、独特な雰囲気の中での登場人物たちのやりとりが魅力の1冊です。



闇祓 作者：辻村深月

あらすじ：滯は転校生の要からストーカー被害を受けていた。そんな中、要から助けてくれた神原先輩と付き合うことになり滯は幸せな日々を送っていた。しかし実は神原先輩の正体が闇ハラ家族だと判明し・・・。
魅力：闇ハラ(自分の意見、事情を一方的に相手に押し付けること)家族のどこか馴染みのある不気味さと、奥が深い人間関係が魅力の1冊です。かがみの孤城の作者なだけあってとても読みごたえがあります。